

4 / (月)
3

一人の百歩より百人の一步！！
献血の安定供給で住みよい街に！
献血率No.1めざして！

第15回 愛の献血
フェスティバル

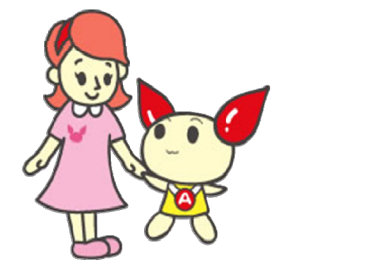
みなさん
のご協力よろしく
お願いします！

空じなし！
大抽選会！！

献血バス1台
配車対応！

会場：イオン いわき店 駐車場
午前9:30～午後5:30
(最終受付)

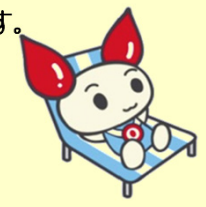
献血は、健康な方なら下記の条件でできます。
▶ 16歳以上64歳以下の方
▶ 65歳以上69歳以下の方
※ただし、60歳から64歳までの間に献血したことのある方に限る。
● 200mL、400mL全血献血のご協力をお願いします。
● 輸血経験のある方は、献血出来ません。



献血の手順



- ①献血受付
献血申込書に記入します。または身分証明書などの提示をお願いし本人確認を行っています。
- ②問診回答
献血する方の安全と、輸血を受ける患者さんのために、問診票の質問に正確に回答します。(タッチパネルへの入力)
- ③問診血圧測定
問診票に基き、医師による問診と血圧測定を行います。問診内容のプライバシーは厳守されます。
- ④血液型の判定、ヘモグロビン濃度の測定
貧血の心配がないか、事前に調べます。成分献血の場合は、血小板の数も調べます。
- ⑤採血
採血ベットに横になって、採血を開始します。
- ⑥休憩
献血後は、休憩場所で十分に水をとり、しばらく休憩をしてください。
- ⑦献血カードの受取
献血カードを受け取ります。今後の献血記録になりますので、大切に保管してください。



献血するときの注意点は？



❑ 薬を飲んでいる
病気や薬の種類によって、献血をご遠慮いただくことがあります。ビタミン剤などは、内服しても支障ありません。(お薬手帳またはお薬袋のご持参にご協力ください。)



❑ 最近、歯科治療を受けた
3日以内に出血を伴う治療を受けた人は、献血出来ません。

❑ 予防接種を受けた
予防接種の種類によって異なりますが、一定期間献血をご遠慮いただいています。
■接種後24時間：インフルエンザ、日本脳炎、子宮頸がん、肺炎球菌など
■接種後4週間：B型肝炎など

❑ ピアスをしている
穴の開け方によって異なりますが、1ヶ月～6ヶ月間献血をご遠慮いただいています。また、唇や口の中、鼻にピアスをしている人は、献血出来ません。

❑ 海外に行った
帰国当日から4週間以内は、献血をご遠慮いただいています。また、特定の時期に一定期間イギリスなどへ海外渡航歴がある方については、当分の間献血をご遠慮いただいています。

今まで献血をしたことがなかったあなたへ。
献血ルームや献血バスを見かけたら、ほんのちょっとの勇気を出して、足を運んでみてください。

事情があって、献血できないあなたへ。
献血のことを、お友達や知り合いの人と話してみることも、誰かの命を助けるきっかけになります。あなたには人の命を助ける力があります。

献血へのご協力をお待ちしています。



主催 / 志賀塗装株式会社

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字古湊45-1

協力 / イオン いわき店

福島県いわき赤十字血液センター

献血についてのお問合せは、福島県いわき赤十字血液センターへ《0246-29-5624》

どうして献血って必要なの？

今、特に若い世代の献血協力が必要です！

病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があります(「**輸血**」といいます)。その輸血に欠かせないのが「**献血**」です。
献血とは、輸血を受ける患者さんのために、自分の血液を無償で提供することです。

今、時代は少子高齢化社会。献血は大半を30代以上の方々が支えています。この状態がずっと続くと、どうなるのでしょうか？

これからの私たちの医療が心配です

献血が必要なわけ

人工的に造れない！

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、血液はいまだに人工的に造ることができません。
だから、「献血」でたくさんの人から血液を集めるしかないので。

長期保存ができない！

血液は生きた細胞の集まりなので、長い間保存ができません。
いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

全国で1日約3千人！

何の数字だと思いますか？
実は、輸血を受けている患者さんの数なんです。
毎日、こんなに多くの患者さんが、血液を必要としています。

最多はがん治療！

輸血は什么时候に使われるのでしょうか？多くはがん治療で、約40%を占めます。
このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

輸血を受ける人

(東京都福祉保健局調べ)

輸血を受ける人の約85%は、50歳以上です。
高齢化が進むと、輸血を受ける人の割合がどんどん多くなります。

献血者が少なくなってしまうと、十分な血液が集められないって・・・

献血をする人

今まで輸血を支えてきた30代以上の献血者は、だんだん「輸血を受ける側」へシフト。
一方で、将来を支える10代・20代の献血者は、減少傾向にあります。

「輸血」というと、大げさに使われるイメージがあるけれど・・・

けが治療はわずか2.7%で、ほとんどは病気の治療に使われているっち！

(平成23年 東京都福祉保健局調べ)

献血バス1台 配車対応！

血液を必要とする患者さんに、血液が届けられない事態に！

そんな事態にならないように、一人でも多くの方、特に若い世代の方に、献血に協力してもらう必要があります。

あなたの献血で、多くの患者さんの命が救われます。皆さんのご協力をお願いいたします。

出典:厚生労働省 平成26年版「けんけつHOP STEP JUMP」より引用